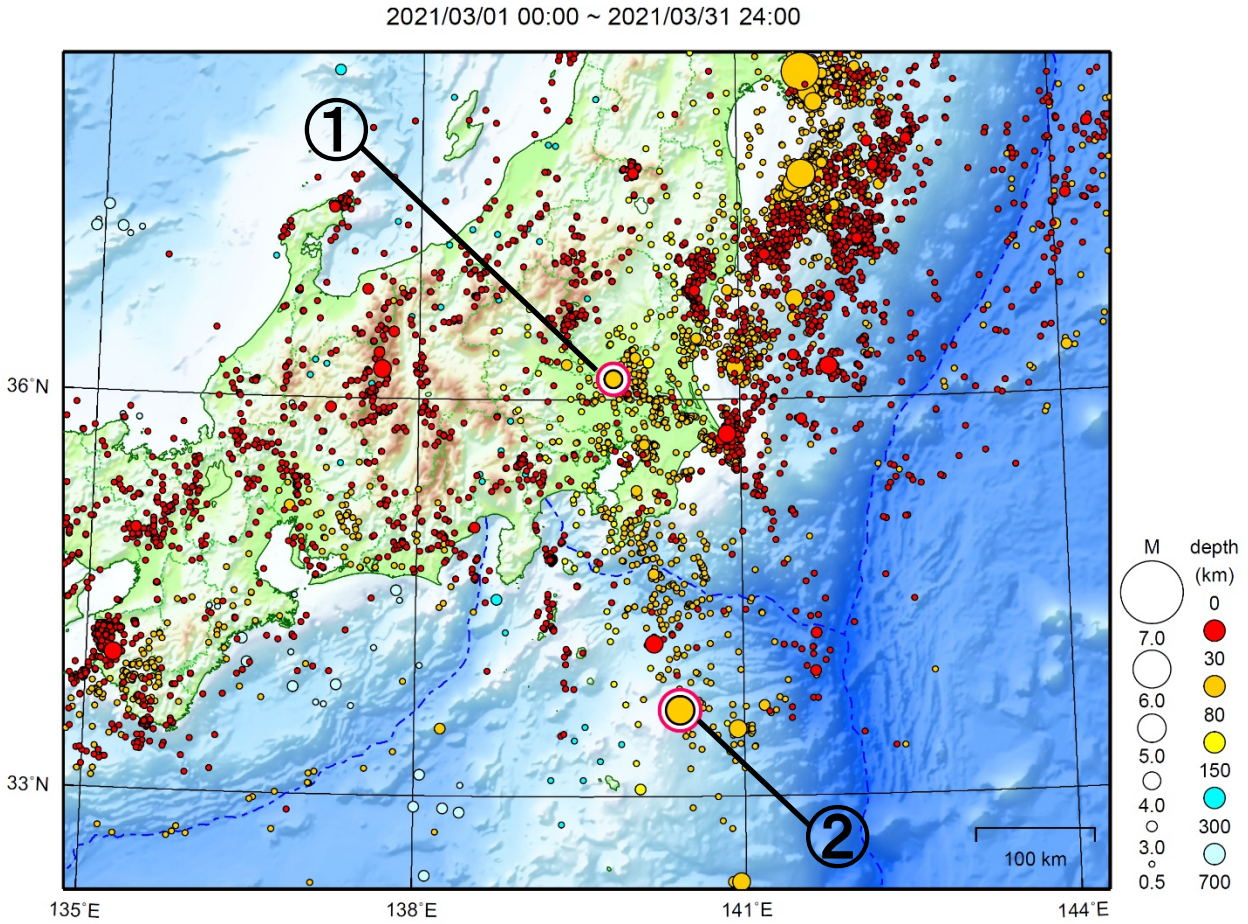
関東・中部地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① ３月 16 日に茨城県南部で M4.9 の地震（最大震度４）が発生した。

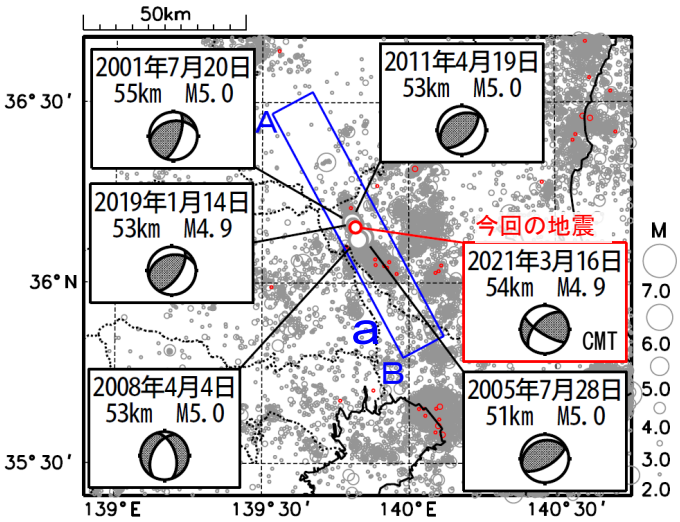
② ３月 28 日に八丈島東方沖で M5.6 の地震（最大震度３）が発生した。

［上述の地震は M6.0 以上または最大震度４以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度３以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度３以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。］

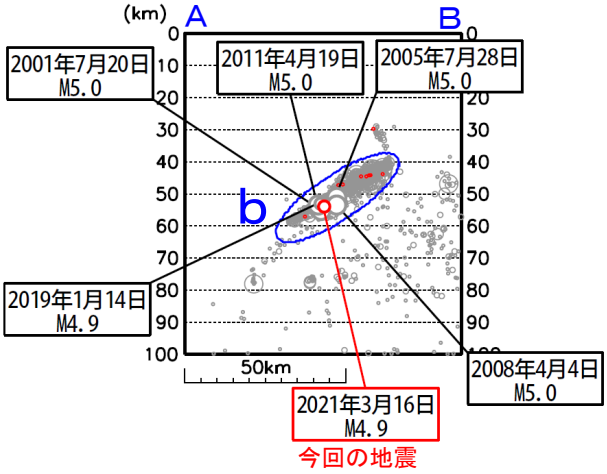
気象庁・文部科学省

３月 16 日　茨城県南部の地震

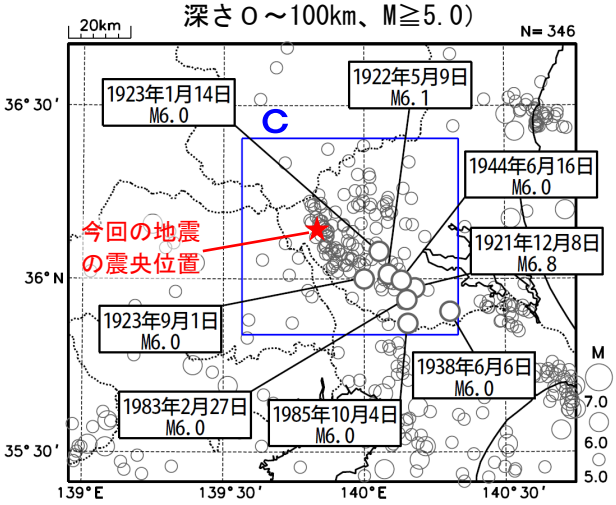
震央分布図
（1997 年 10 月１日～2021 年３月 31 日、
深さ０～100km、M≧2.0）
2021 年３月の地震を赤色で表示



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



震央分布図
（1919 年１月１日～2021 年３月 31 日、
深さ０～100km、M≧5.0）

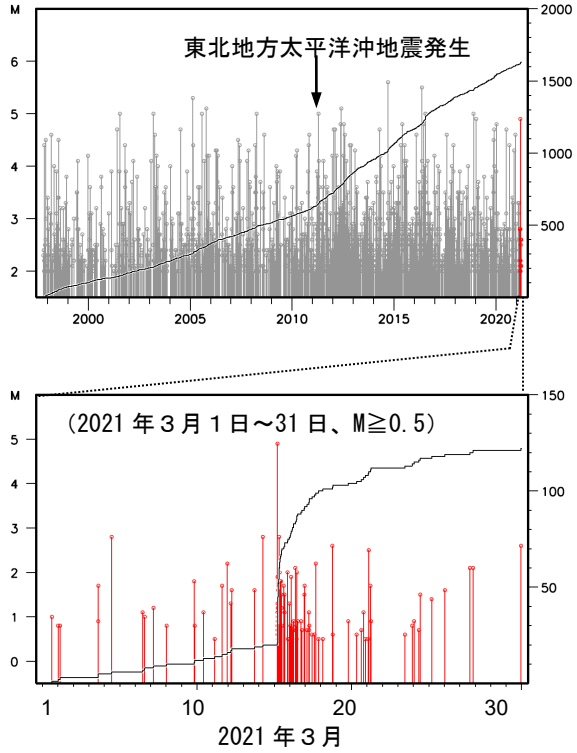


2021 年３月 16 日 04 時 56 分に茨城県南部の深さ 54km で M4.9 の地震（最大震度４）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

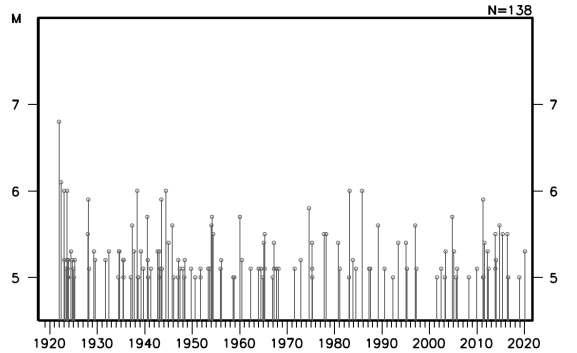
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）は活動が活発な領域で、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動がより活発になった。M5.0 以上の地震も度々発生しており、2005 年７月 28 日に発生した M5.0 の地震（最大震度４）では、軽傷者１人、建物のガラス破損等の被害を生じた（総務省消防庁による）。

1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M6.0 程度の地震が時々発生している。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



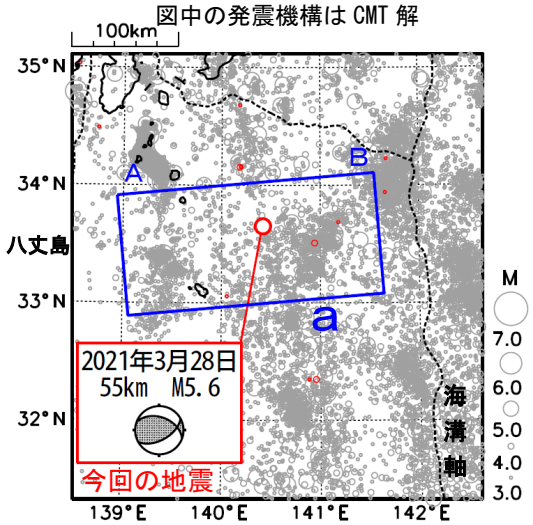
領域ｃ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成

３月 28 日　八丈島東方沖の地震

震央分布図
（1997 年 10 月１日～2021 年３月 31 日、
深さ０～250km、M≧3.0）
2021 年３月の地震を赤く表示
図中の発震機構は CMT 解

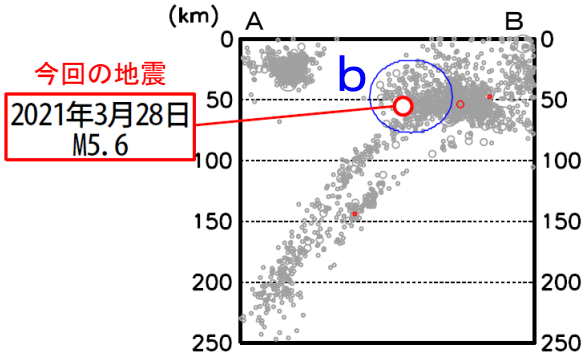


2021 年３月 28 日 09 時 26 分に八丈島東方沖の深さ 55km で M5.6 の地震（最大震度３）が発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

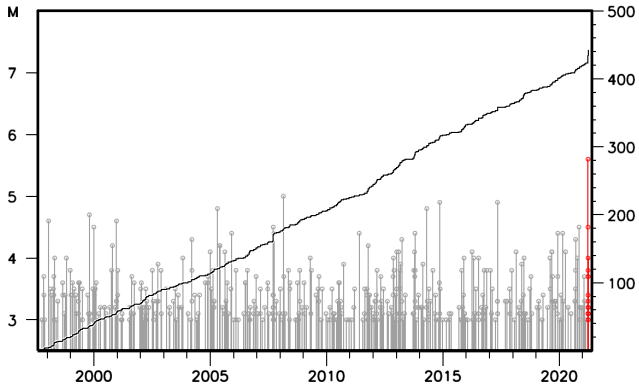
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、M4.0 以上の地震が時々発生している。

1919 年以降の活動をみると、今回の震央周辺（領域ｃ）では、1972 年２月 29 日に M7.0 の地震（最大震度５）が発生し、千葉県館山市布良で最大 23cm の高さの津波が観測された。また、1972 年 12 月４日に M7.2 の地震（最大震度６、「1972 年 12 月４日八丈島東方沖地震」）が発生し、和歌山県串本町袋港で最大 35cm の高さの津波が観測された（いずれの地震も津波の高さは、験震時報（第 38 巻）による）。

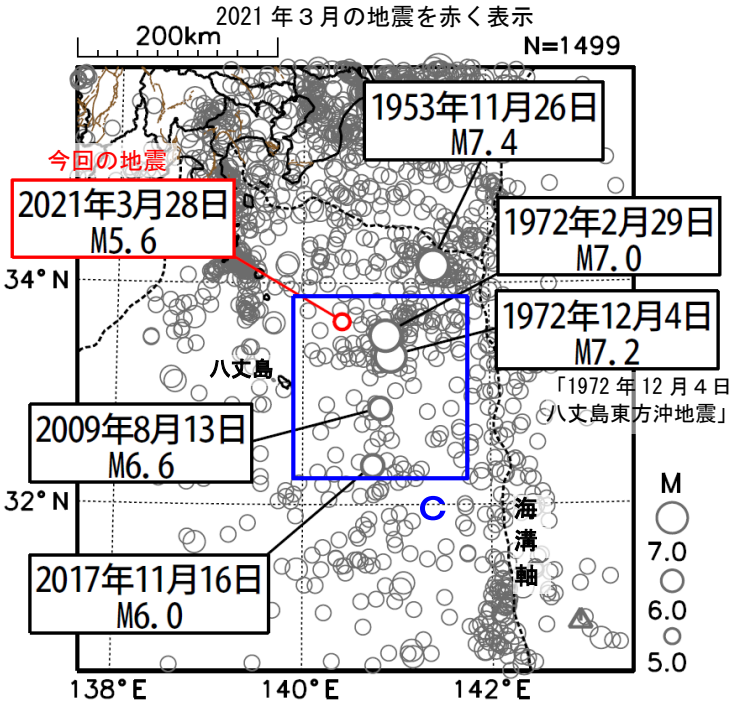
領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



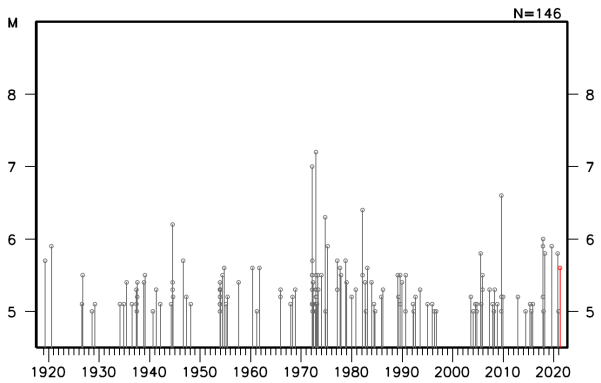
領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



震央分布図
（1919 年１月１日～2021 年３月 31 日、
深さ０～250km、M≧5.0）
2021 年３月の地震を赤く表示



領域ｃ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成